



# 年頭のご挨拶



熊本県国民健康保険団体連合会  
理事長 幸山政史

明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、新春を健やかに  
お迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、皆様には、平素から国民健康保険事業の運営にご尽力いただいております  
ことに、心より感謝申し上げますとともに、本会の事業運営につきましても、  
多大なご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます次第でございます。

ご承知のとおり、国民健康保険制度は、創設以来わが国が世界に誇る国民皆保  
険体制の基盤として中核的な役割を担い、地域住民への医療の提供と健康の保持  
増進に大きく貢献しております。

しかしながら、国保は高齢者や低所得者の多くの方々を被保険者として抱える  
構造的な課題をはらんでおり、近年の経済情勢により、その財政運営は一層厳し  
さを増しております。

このような状況の中、国においては、社会保障制度改革推進法に基づく「社会  
保障制度改革国民会議」の報告書が取りまとめられ、平成 29 年度までの国保の  
都道府県化が盛り込まれた「社会保障制度改革プログラム法」が成立し、医療保  
険制度は皆保険制度導入以来の大きな変革を迎えようとしています。

本会といたしましては、このような国の動向を注視しながら、国保制度が安定  
的に運営されますよう、保険者との連携を一層密にし、山積する諸問題の解決に  
取り組んでいく所存であります。特に今年は、本会の基幹業務であります診療報  
酬審査支払事業の充実・強化をはじめ、医療や介護のレセプト、健診データなど  
を活用した個人の健康データや統計情報を作成する国保データベース（KDB）シ  
ステムを活用し、地域の疾病予防、介護予防をより効果的に進めることで、医療  
費の適正化につなげてまいりたいと考えております。

保険者の皆様におかれましては、引き続き本会に対しましてご支援ご協力を賜  
りますようお願い申し上げますとともに、国保にご加入の皆様方、お一人おひと  
りのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。

